

東京電機大学
令和4年度 卒業生(既卒者)アンケート結果

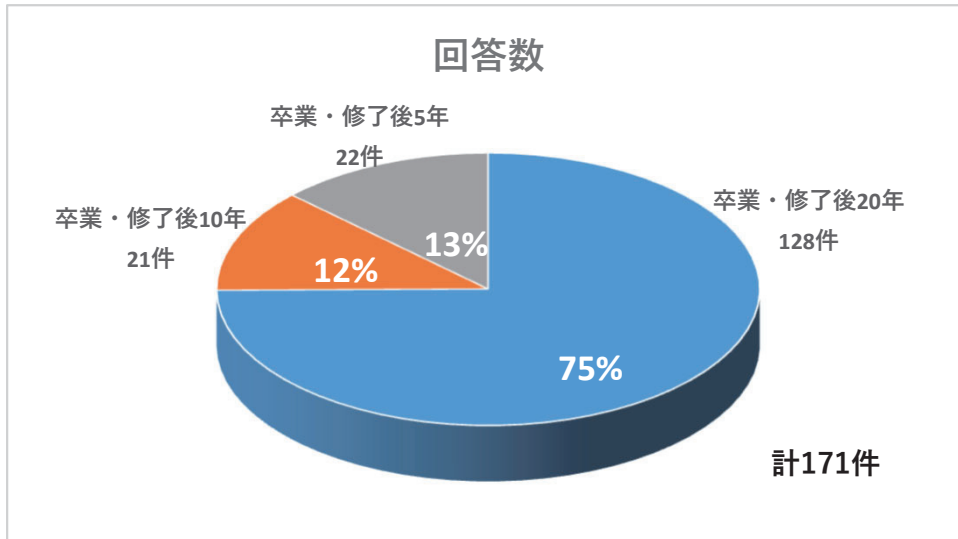
令和4年6月
総務部企画広報担当

■アンケート実施概要

- (1) 調査目的 「大学時代の経験で卒業後役立ったと感じること」、「卒業生の本学に対する満足度・現在の評価」並びに「卒業後のキャリアの状況等」について調査し、今後の教育活動等の改善につなげることを目的とする。
- (2) 対 象 卒業・修了後、5年・10年・20年を経過した者（合計4,821名）
① 平成28年度卒業生・修了生（平成29年3月卒業・修了）
② 平成23年度卒業生・修了生（平成24年3月卒業・修了）
③ 平成13年度卒業生・修了生（平成14年3月卒業・修了）
- (3) 実施方法 webで実施
※アンケートの依頼は、郵送（校友会会員については、4月号の工学情報に同封）。（住所登録者のみ）
- (4) 実施期間 令和4年4月18日～令和4年5月29日
- (5) 回答者数 171名（回答率3.5%）
（①卒業・修了後5年：22名 ②卒業・修了後10年：21名 ③卒業・修了後20年：128名）

以 上

令和4年度 卒業生（既卒者）アンケート回答数



卒業・修了後20年（平成14年3月卒業・修了）

学部等	回答数	対象数	回収率
工学部、工学部第一部	42	528	8.0%
工学部第二部	22	196	11.2%
理工学部	33	375	8.8%
工学研究科 修士課程	14	133	10.5%
工学研究科 博士課程	0	2	0.0%
理工学研究科 修士課程	17	99	17.2%
理工学研究科 博士課程	0	4	0.0%
計	128	1,337	9.6%

卒業・修了後10年（平成24年3月卒業・修了）

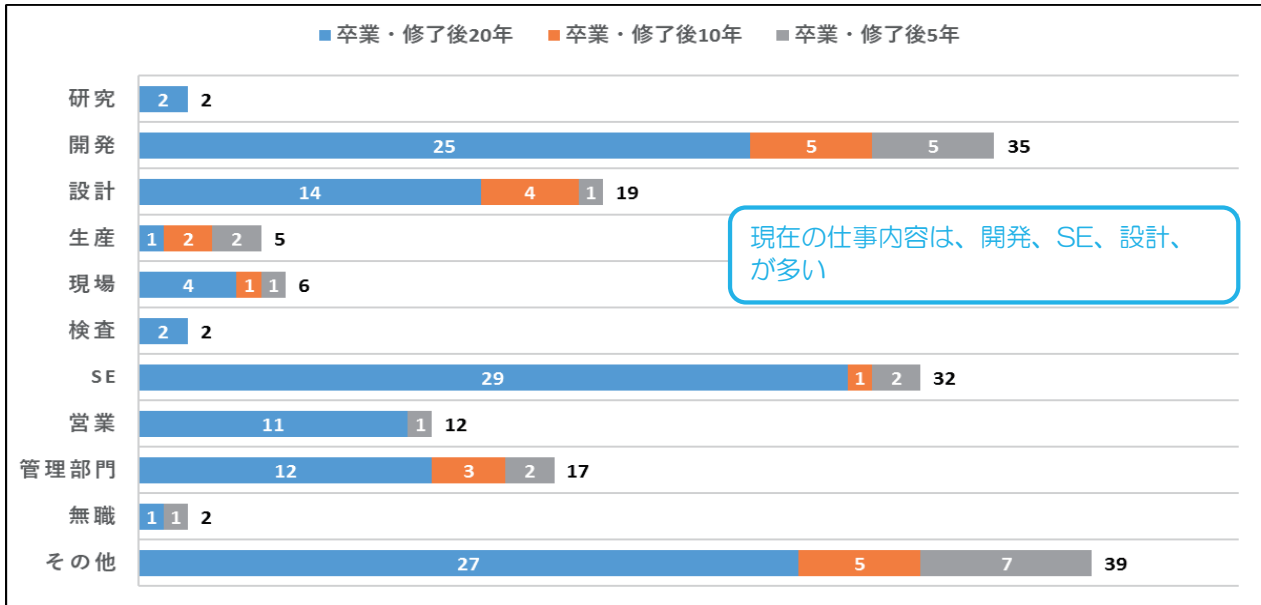
学部等	回答数	対象数	回収率
工学部、工学部第一部	6	453	1.3%
工学部第二部	1	77	1.3%
理工学部	3	430	0.7%
情報環境学部	1	143	0.7%
未来科学部	1	130	0.8%
工学研究科 修士課程	6	166	3.6%
未来科学研究科	3	81	3.7%
理工学研究科 修士課程	0	136	0.0%
情報環境学研究科 修士課程	0	30	0.0%
先端科学技術研究科 博士課程（後期）	0	5	0.0%
計	21	1,651	1.3%

卒業・修了後5年（平成29年3月卒業・修了）

大学（学部）	回答数	対象数	回収率
工学部、工学部第一部	4	458	0.9%
工学部第二部	2	110	1.8%
理工学部	7	484	1.4%
情報環境学部	3	194	1.5%
未来科学部	1	208	0.5%
工学研究科 修士課程	3	126	2.4%
未来科学研究科	0	142	0.0%
理工学研究科 修士課程	2	76	2.6%
情報環境学研究科 修士課程	0	25	0.0%
先端科学技術研究科 博士課程（後期）	0	10	0.0%
計	22	1,833	1.2%

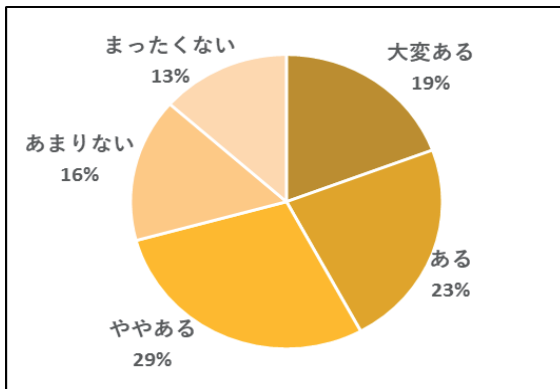
合計	171	4,821	3.5%
-----------	------------	--------------	-------------

問1 あなたの現在の仕事内容をお教えてください。



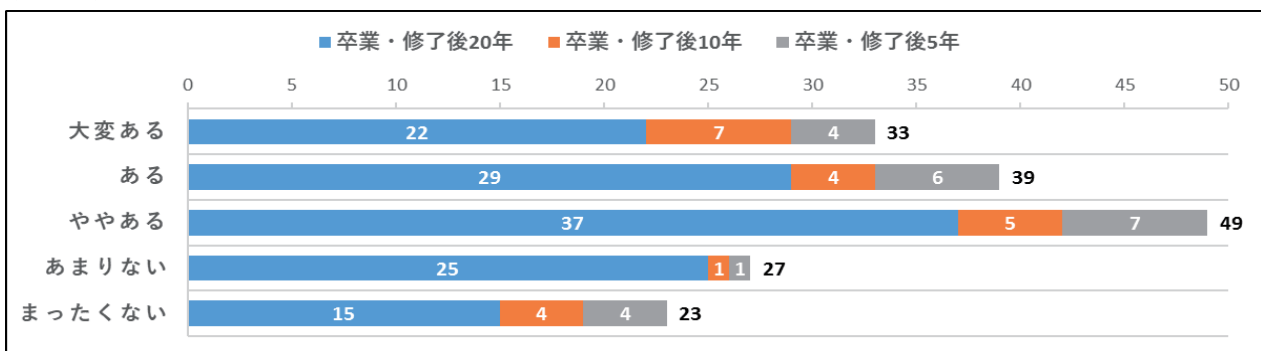
問2 現在の仕事内容と大学で学んだ専門教育の関連度合いを教えてください。

(全体)



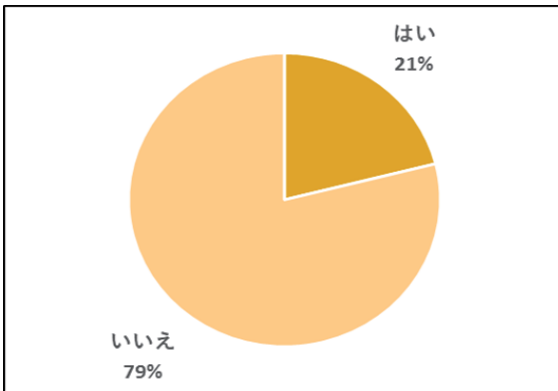
現在の仕事内容と大学で学んだ専門教育との関連は、「ある」が71% (大変ある・ある・ややある)

(卒業年別)



問3 海外で仕事をした経験はありますか。

(全体)



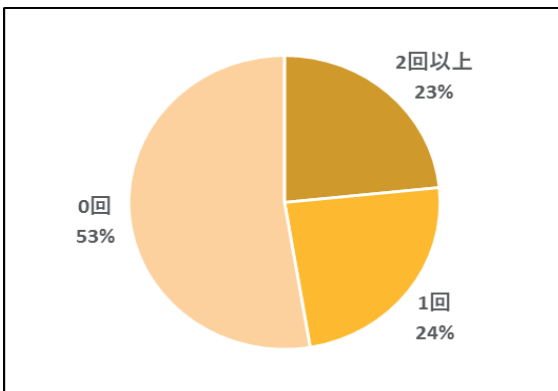
海外での仕事経験があるのは
21%

(卒業年別)



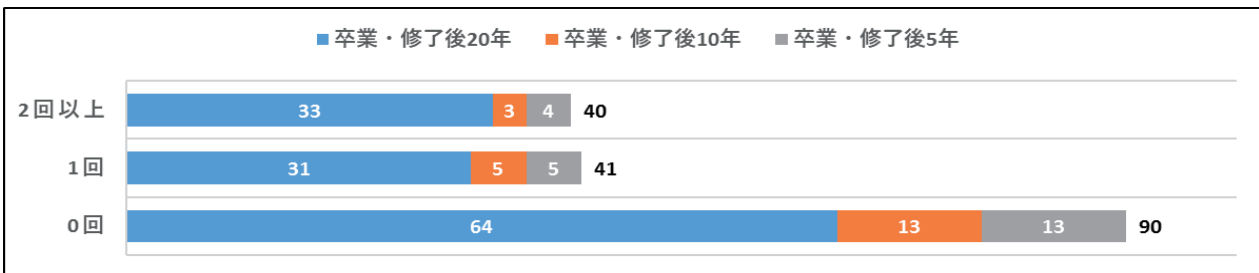
問4 今までに何回転職をしたことがありますか。

(全体)

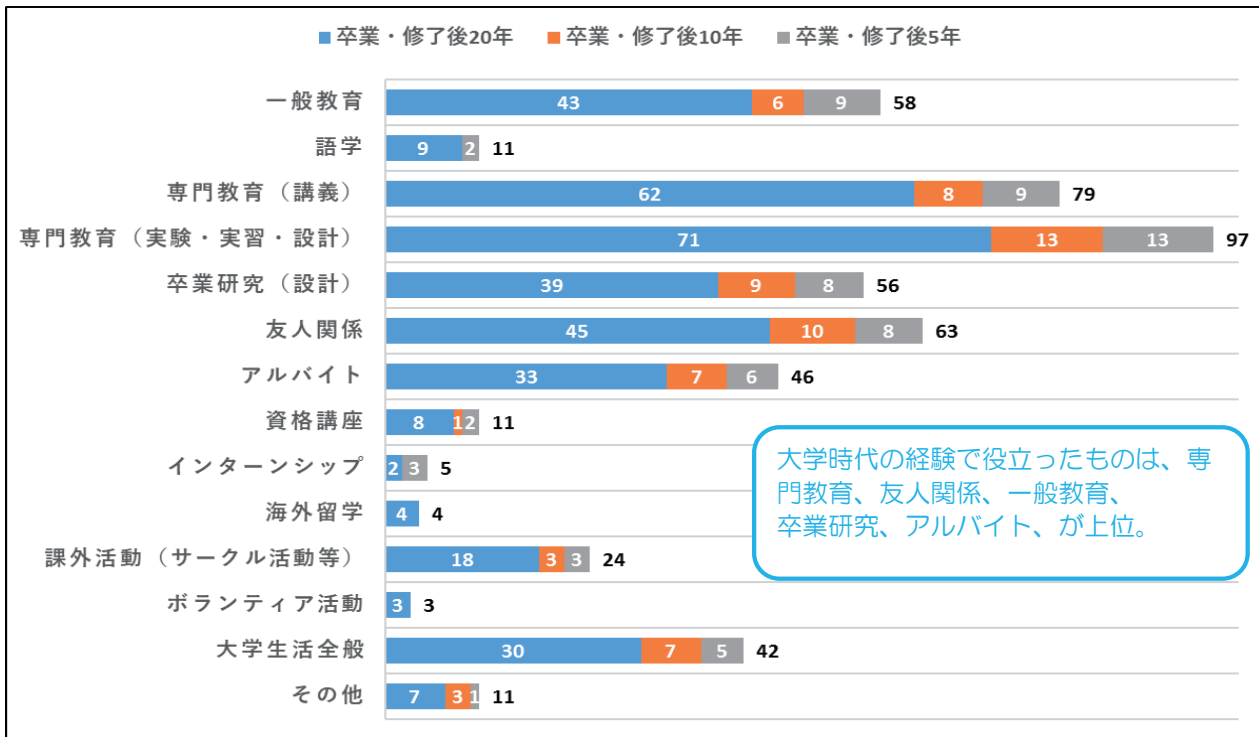


約半数が、転職の経験あり

(卒業年別)



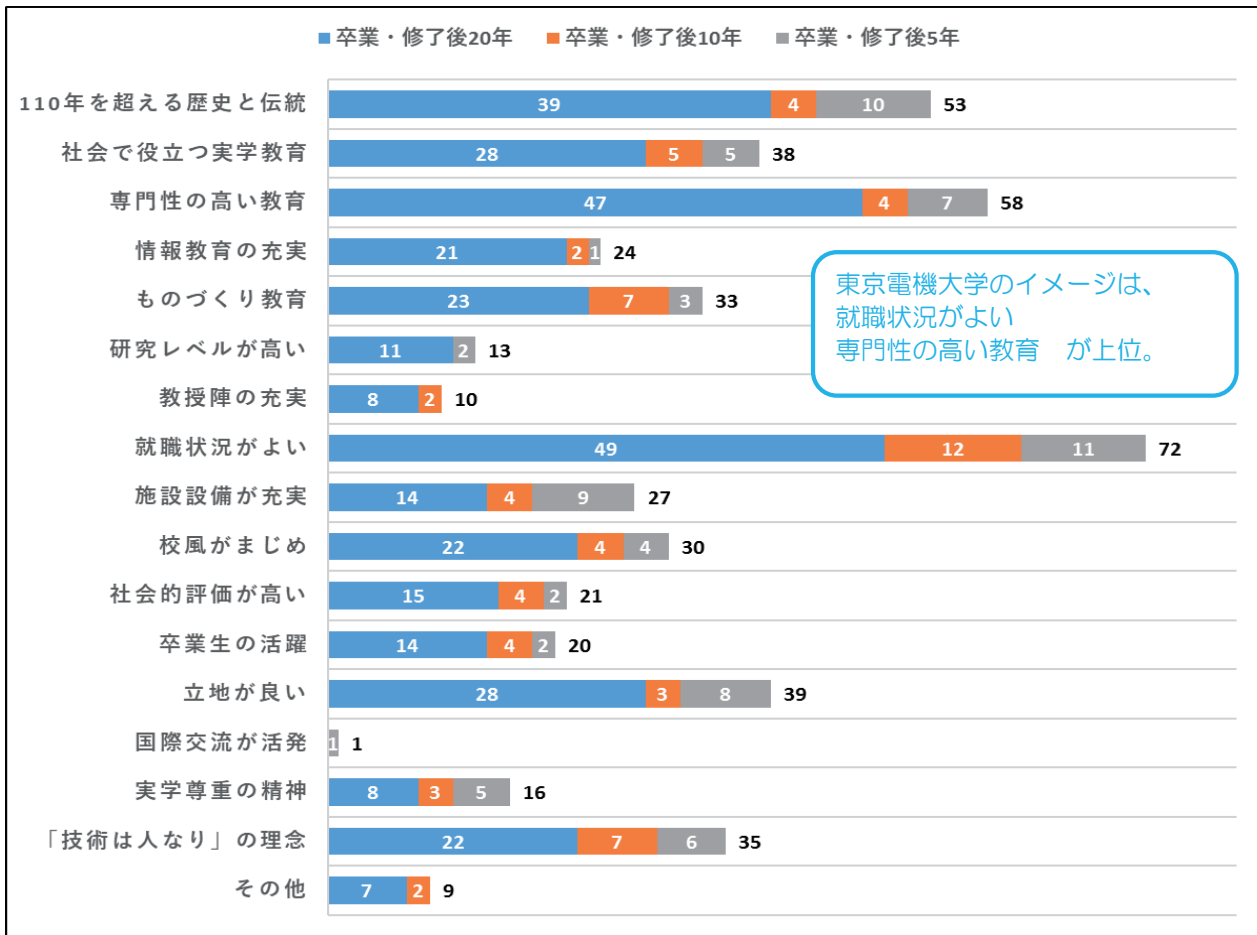
問5 大学時代の経験で卒業後役立つと感じることは何ですか。（複数回答可）



「その他」の回答

海外旅行／外国人講師による英会話講座／学会補助員の経験／実験レポート／電気工学実験室／部活動／人付き合い／スケジュール管理

問6 現在の東京電機大学のイメージにあてはまるものは何ですか。（複数回答可）

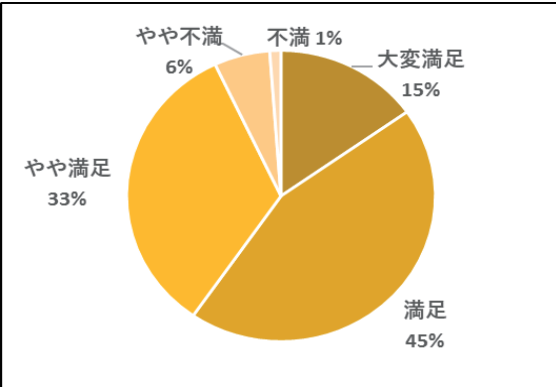


「その他」の回答

メカ・エレキの基礎が幅広く学べる／企業の予備校の位置づけ（唯一無二）／高すぎず低すぎずな結果として扱いやすい／某ゲーム、アニメの舞台／イメージがあまりない

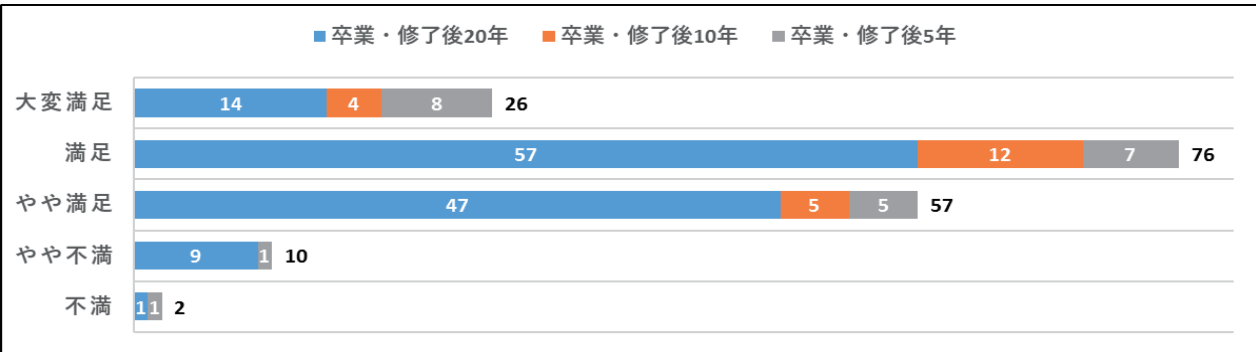
問7 ご自身の大学生生活を振り返ってみて、本学に対する総合的な満足度はどの程度ですか。

(全体)



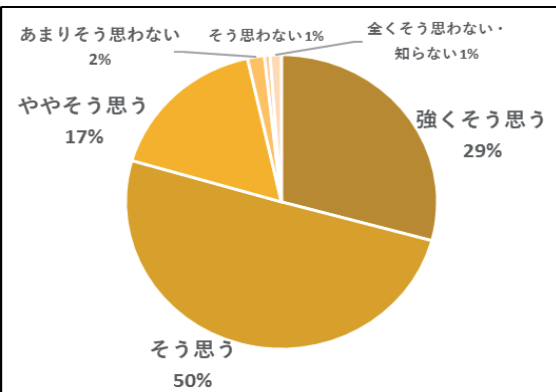
90%以上が本学に対して「満足」と感じている
(大変満足・満足・やや満足)

(卒業年別)



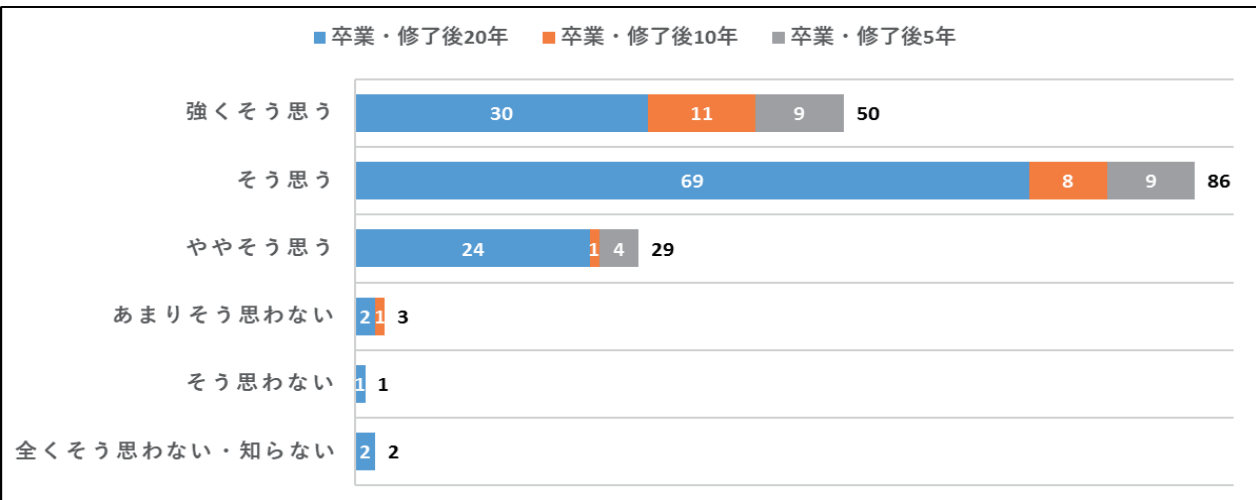
問8 「実学尊重」の精神は、今も重要だと思いますか

(全体)



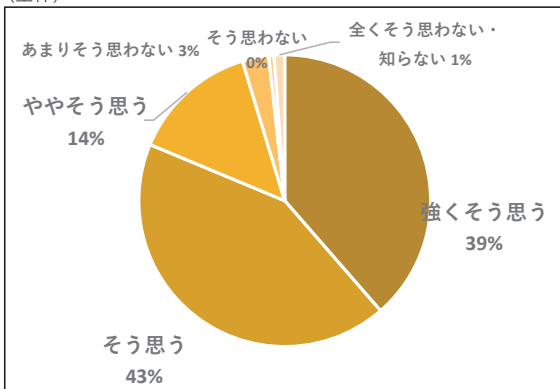
96%が「実学尊重」の精神を「重要」と感じている
(強くそう思う・そう思う・ややそう思う)

(卒業年別)



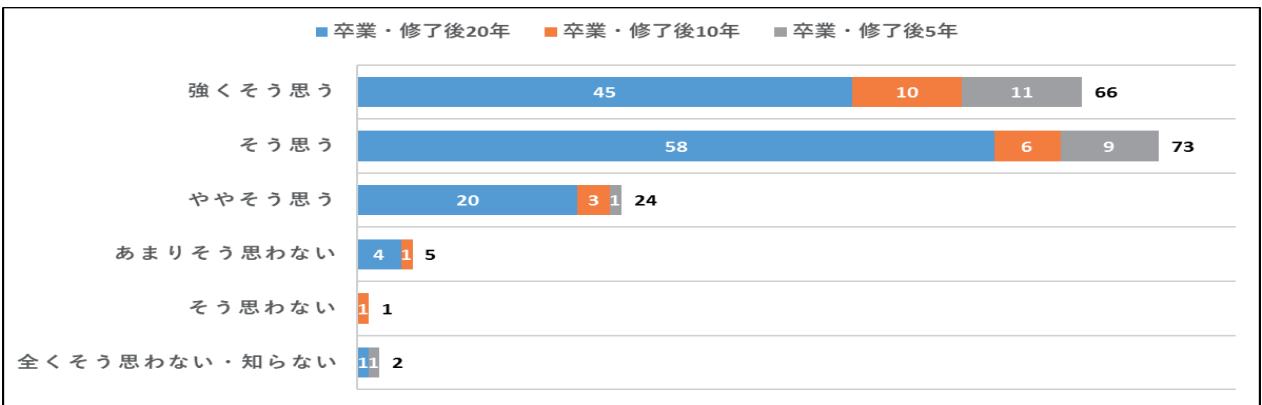
問9 「技術は人なり」の理念は、今も重要だと思いますか。

(全体)



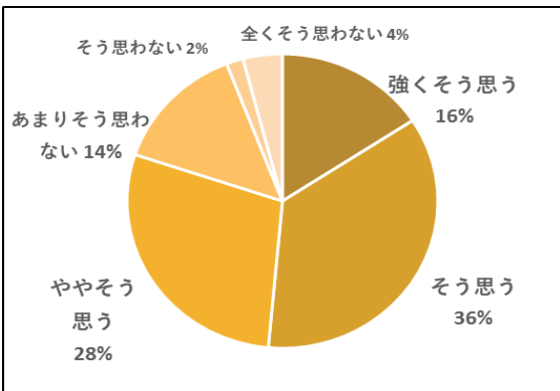
96%が「技術は人なり」の理念を「重要」と感じている
(強くそう思う・そう思う・ややそう思う)

(卒業年別)



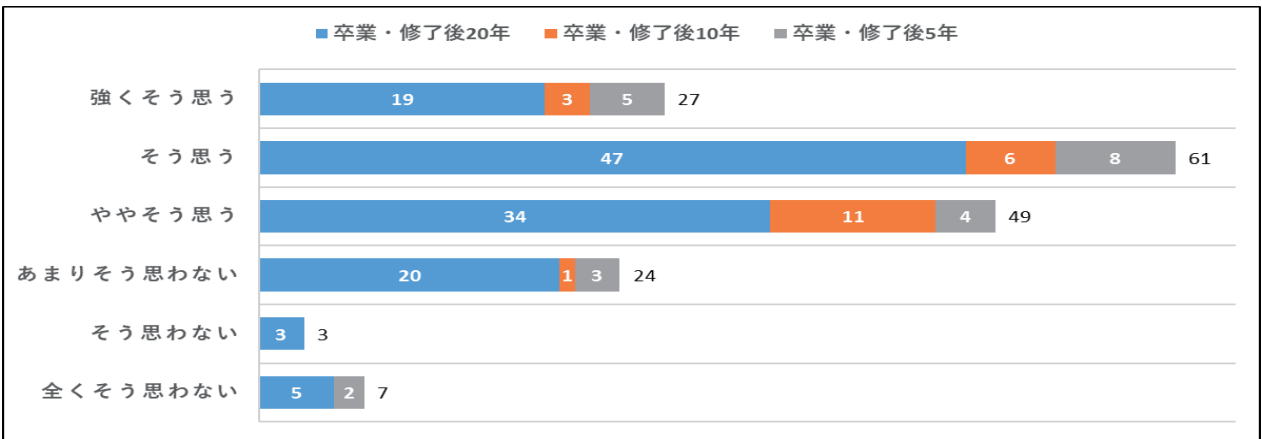
問10 本学に誇りを持っていますか。

(全体)

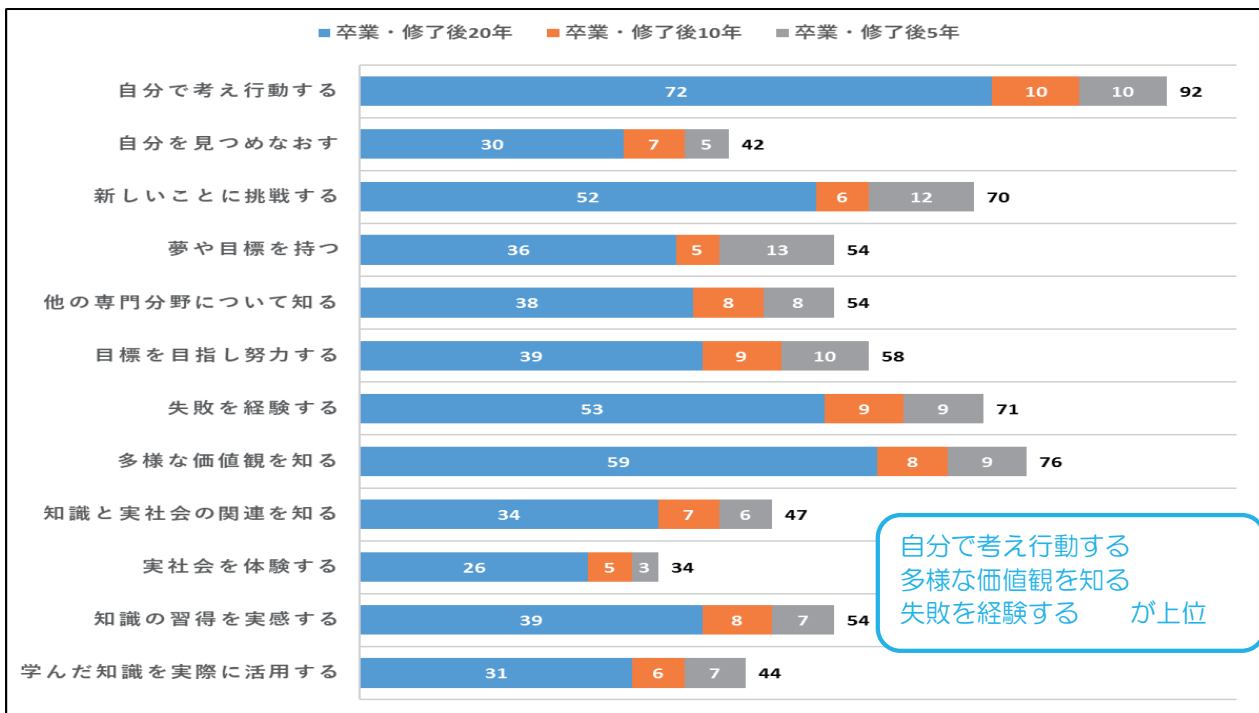


80%が本学に誇りを持っている
(強くそう思う・そう思う・ややそう思う)

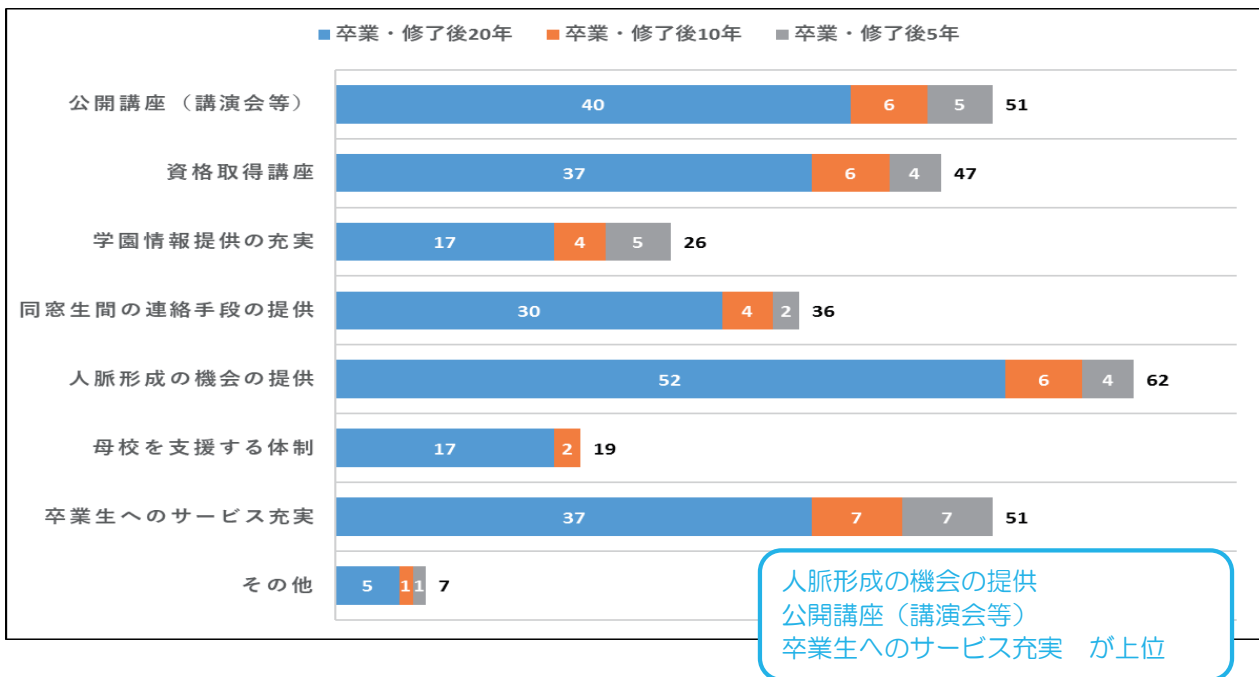
(卒業年別)



問11 学生時代に経験したことで、印象に残っていることは何ですか。（複数回答可）



問15 校友会に期待するものをいくつかもお選びください



「その他」の回答

リクルート活動／共同研究／オープンイノベーション／卒業生の会社での活躍をもっと知りたい

(自由記述の設問)

問12 学生時代に特に大切だったと思うものは何ですか。

卒後20年の回答の抜粋

各種実験の実施、教科書等では得られない仕組みが理解できたこと。今でもそのプロセスやまとめ方などは物事を考える上で役に立っている。

実験とレポート提出英語論文をプレゼンする講義プログラム学習相対性理論など難しい講義を学んだこと。音響工学で趣味が広がった。

試験、研究室での教授との交流。就職は氷河期だったが教授からの推薦をいただき就職出来た。電大は、単位の取得数の面談や就職に関して親身にケアしてもらったと感じる。

何に対しても興味を抱き、注意深く観察する習慣を身に付けること。

毎週、数十ページの実験レポート。このとき得たスキルは、20年以上経っても色褪せることはありません。他の同僚に比べ秀でています。

何でもやってみる。失敗すること。何でも言える友人を作ること

実験や実習のレポートをしっかり自分の力で調べてまとめる力は、会社に入りとても役に立った。

なにより人間関係。これだけ自分と同じ分野が好き人間(オタク)が集まっているのに、一人で行動するなんてもったいない。いろんな人の知識・経験を自分のものにし、自分の得た技術を周囲に展開し、互いに高めあうことが一番大事。その経験があったからこそ今の自分がいると思っている。

実験やプログラミングと合わせて座学でも学べたことで理解が深まった。

卒後10年の回答の抜粋

研究における検討と考察。部活や学部における友人関係と人間関係、OBとの関わり

実験・研究でものを壊す経験。就職してからでは得られない経験となる。

自分で考えて製作する経験、そこでの成功体験と失敗体験ができたこと

卒後5年の回答の抜粋

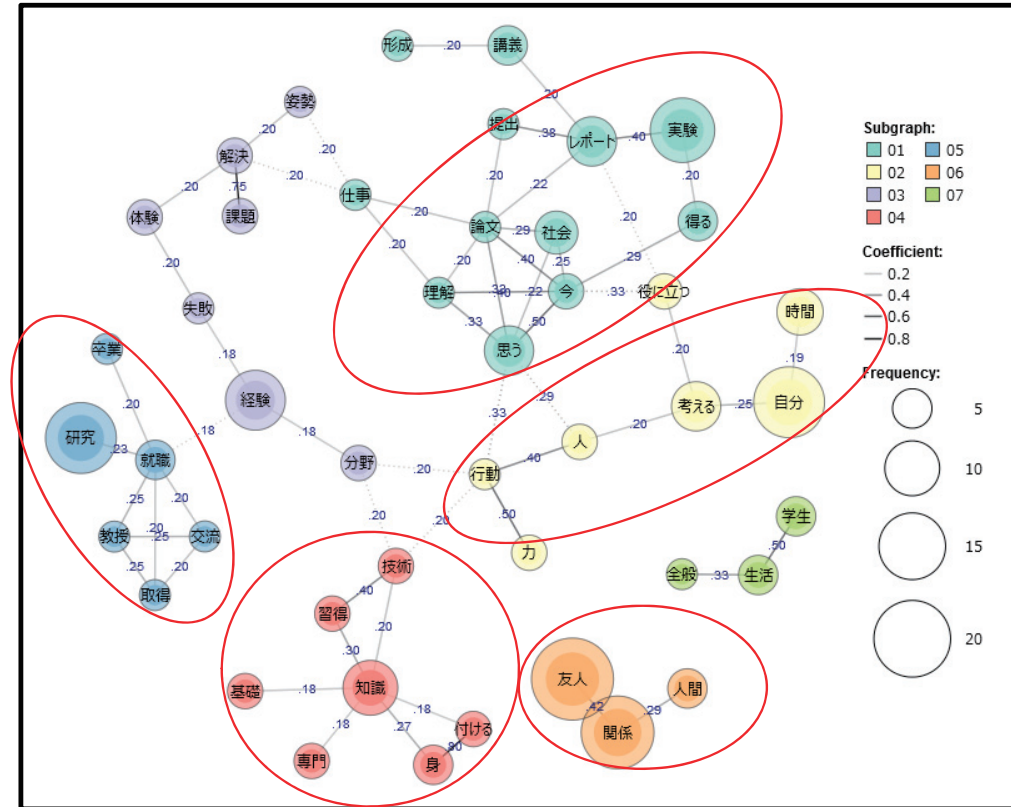
修士論文に向けた研究内容に真面目に取り組んだこと。研究室の先生の指導は厳しいものでしたが、その教えは社会で通用するものの考え方/仕事の進め方でした。その教えが無ければ転職もできず、現職に就けていなかったと思います。その基礎となる研究テーマにどれだけ真剣に/自発的に取り組めるのか、何のための研究なのか理解し研究をすることが大切だと思います。

他人と比べず、自ら考えて行動する力です。様々な想いを持って入学した学生達において、学校や、周りの人に対して思うところが出てくると思います。4年間、与えられた環境で、どれだけ充実できるかは本人次第だと思います。

自分の学びたい専門分野が学べ、同じ分野を学ぶ友人に囲まれた経験。

KH Coderを利用した共起ネットワークによる分析

(単語が共通に出現する関係を線で表示した図。円の大きさは頻出数に比例して大きくなり、線上の係数の高さが関係の強さを表す)



【概説】

「友人」「関係」「研究」「学ぶ」「実験」「経験」「知識」という単語が頻出。

学生時代に特に大切だったと思うもの

- ・友人、仲間、人間関係、教員との交流
- ・研究活動・実験・実習、およびそのレポート
- ・知識や専門的な技術の習得
- ・自分で考える、自分で何とかする

(自由記述の設問)

問13 大学時代にもっと学んでおけば良かったと思うことや、取得しておけば良かったと思う資格などは何ですか。

卒後20年の回答の抜粋

語学(英語)を学んでおくべきであった

第一種電気工事士、工学関連で取れそうなものは取っておくべき。社会人になって仕事で必要になり第二種電気工事士の資格を取ったが学生時代に取っておく方が楽。

学生当時は非常に難解であった電気の知識について、気の済むまでとことん学び、研究に没頭するべきであったこと。資格については、学生である内に、電験三種を取得するべきであった。

海外留学、大学の専門知識以外の領域での実務経験

英語力、図面を描く、読み取る力。断面二次モーメント等の材力

時間が沢山あるうちに、海外に出ていけばよかったと思う。知識よりも技術をもっと学びたかった

語学。英語での質問に英語で説明すること。例えば、基礎で一度履修したことのある教科で、ネイティブ教員による再講義で少人数(30人程度)の授業。

マネジメント関連(アントラーなどの思想的なところ、多様化する価値観に対応する知識を体系的に学びたかった。)

生産工学、経営工学。専門分野を活かすにしても、「稼ぐ」考えがないと社会ではやっていけない。

海外向けの仕事をしていると、英語力は必須。英語の講義はあったものの、あまり真面目に受けていたとは言い難い。また、先進的な技術文書の多くは英文であり、英語力は必須。

卒後10年の回答の抜粋

電子系科目や組み込み、通信、ソフトウェア関係を学べば良かったと思っている。食わず嫌いをせずに学べば良かった。

全般。電気主任技術者資格取得に必要な科目は特に。

英語や外国語を実用レベルまで勉強すれば良かったです

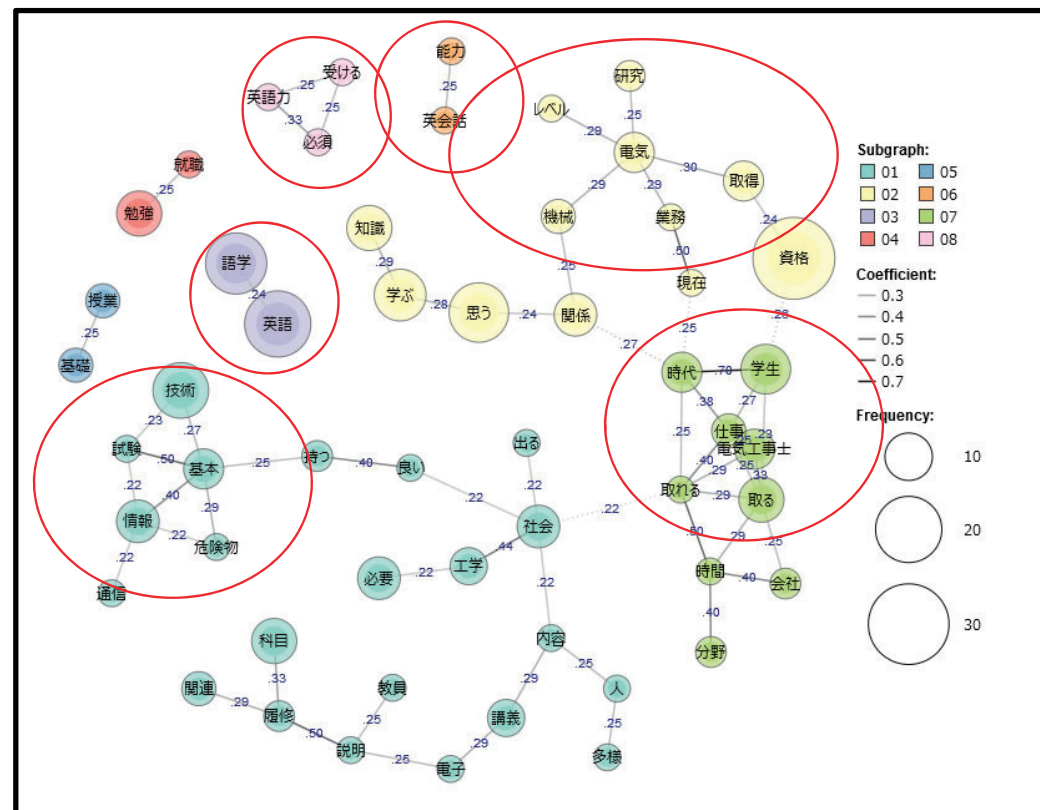
卒後5年の回答の抜粋

他専攻の学問。自分の研究内容を別の角度から見た時に、別の技術や切り口が必要になります。社会人になっても1つの製品に対して、色々なアプローチの仕方が必要。講義レベルでも良いので受講すれば良かったと思います。

より多様な応用分野で学習を深めれば良かった。社会に出てからはなかなか時間は取れないし、今学んでも進んでいく開発は待ってくれない。

KH Coderを利用した共起ネットワークによる分析

(単語が共通に出現する関係を線で表示した図。円の大きさは頻出数に比例して大きくなり、線上の係数の高さが関係の強さを表す)



【概説】

「資格」「英語」「語学」「技術」「学ぶ」「専門」「知識」という単語が頻出。

大学時代に学んでおけば良かったもの、取得しておけば良かった資格

- ・英語、第三外国語、海外留学、英語で技術を学ぶ機会
- ・電気工事士、電気主任技術者、電験三種、情報系、危険物取扱者
- ・マネジメント、経営関連
- ・専門性を深める、専門外の知識

(自由記述の設問)

問14 あなたが、今後、大学に期待することは何ですか

卒業20年の回答の抜粋

卒業後、大学と関わる事が全くなかったので、有益と思える機会があればと思う。

現場で重宝されるバランスのとれた人材の育成

IT技術の専門性をさらに強化してほしい。

卒業後も、学べる機会（通信講座、資格取得のサポートなど）の提供など。今はYoutubeを通して学ぶことも出来るため、卒業生向けの学習コンテンツの配信などをご検討いただけるとありがたいです。

社会に出てから本当に必要とする学力、社会経験、国際経験を学べると良い。

理論を元に現物をよく観察し、原理原則より自分で課題を見つけて解決に導くシナリオを組み立てられる思考力の醸成を期待します。

卒業後の学び直し

企業との共同事業範囲の拡大と学生の関わり方の深化。様々な業態との関わり。

自分で考え、手を動かし、体験する学生を育てて欲しい。知識だけの新人は育てるのが難しい事が多い。

より多くの社会人向け講座ノーベル賞を受賞された方や、世界で活躍する技術者の講演。

卒業10年の回答の抜粋

社会に出た時に、基礎研究でも良いので、勉強したと感じられる分野をつくり、自信を持たせてあげてください。

若年層の卒業生、在学生との交流

大学で学べることがいかに大切に貴重な時間なのか、チャンスなのかを学生に気がつかせてあげてほしい。社会に出てからのほうがもっと勉強したいと思う機会は増えるし、学べば良かったと思うようになるので後悔して欲しくない。

ワンランク上の特進学部の開設とメディアにいろんな分野で露出すること。テレビ番組の企画で教授がでたり、実験などの協力をする。知名度向上こそ学生の確保や卒業生の誇りとなる。

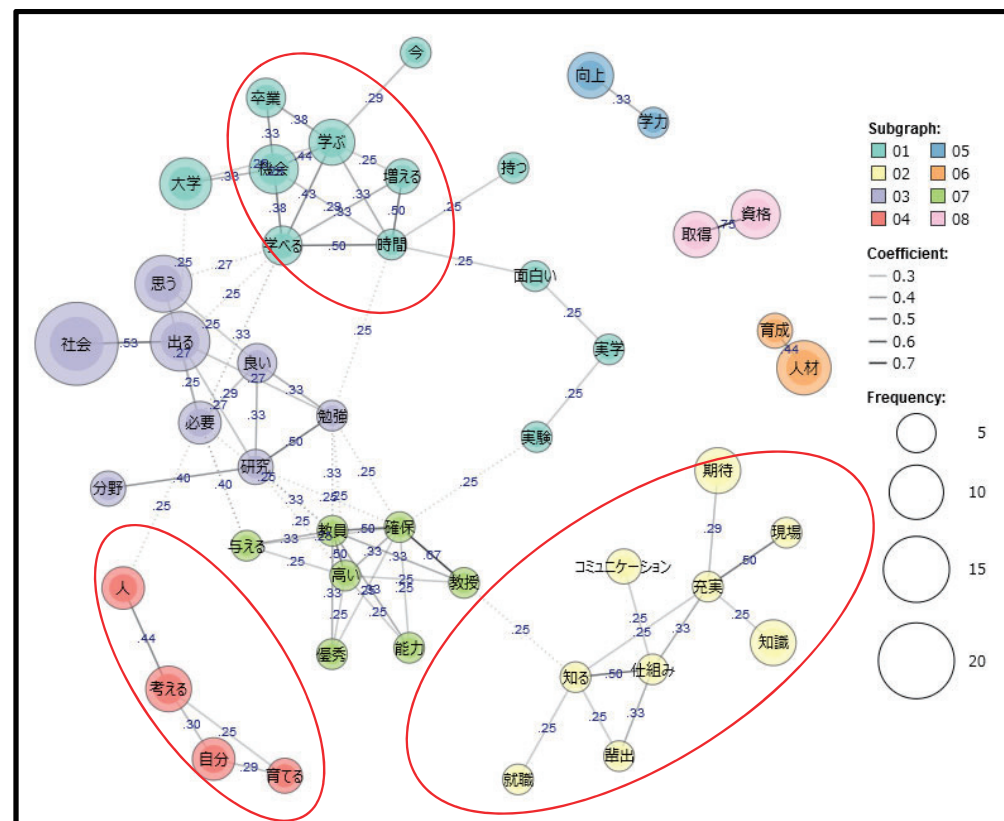
卒業5年の回答の抜粋

社会人課程に大いに助けられました。二部の存続に期待しています。

電機や機械、生物、化学等、さまざまな分野で活躍できる人材が増えて欲しい。

KH Coderを利用した共起ネットワークによる分析

(単語が共通に出現する関係を線で表示した図。円の大きさは頻出数に比例して大きくなり、線上の係数の高さが関係の強さを表す)



【概説】

「社会」「学生」「教育」「人材」「卒業生」「機会」「技術」という単語が頻出。

今後、大学に期待すること

- ・社会で活躍する有益な人材、自分で考えることが出来る優秀な学生の育成
- ・卒業後の学び直し、学びの機会の提供
- ・卒業生、在学生の交流
- ・ブランドの向上

<令和4年度 卒業生（既卒者）アンケート調査についての総括>

卒業生（既卒者）へのアンケートについては、令和3年度より調査項目および調査対象を見直し、webでアンケート調査を実施した。

十分な回答数は得られなかったが、卒業生の現況（勤務状況、海外での仕事経験、転職経験）や、本学に対する満足度、意見等について調査することができた。

今回の調査では、海外での仕事経験がある卒業生の割合は21%、大学時代に学んでおけば良かったことについては、英語・語学・海外留学との意見が多かった。取得しておけば良かったと思う資格については、電気工事士、電気主任技術者、電検三種などであった。また、大学に期待することとして、社会人への学ぶ機会の提供、大学の知名度向上、などが挙げられた。本学においては、今後、語学教育、海外留学機会の提供、資格取得のさらなる推進、大学の知名度向上策の検討が求められる。

このように様々な意見がある中、大学に対する総合的な満足度に関する回答においては、90%以上が本学に対して「満足」と感じており、80%が本学に誇りをもっているなど、高い満足度が示された。

本調査については、今後、回収率を上げるとともに、卒業生アンケート（卒業・修了時に実施）、新入生アンケート等とも連携の上、様々な側面からの分析を実施し、大学運営、教育改善について検討することとしたい。

以 上